

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成27年4月2日

【事業年度】 第38期（自 平成25年2月21日 至 平成26年2月20日）

【会社名】 株式会社ダイユーエイト

【英訳名】 DAIYU EIGHT CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 浅 倉 俊 一

【本店の所在の場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(545)2215(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 石 黒 隆

【最寄りの連絡場所】 福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地

【電話番号】 024(545)2215(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括部長 石 黒 隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年5月20日に提出いたしました第38期（自平成25年2月21日 至平成26年2月20日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 当連結会計年度の経営成績の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 当連結会計年度の経営成績の分析

(訂正前)

(売上高)

当連結会計年度における売上高は、412億5千万円（前連結会計年度は、399億3千5百万円）となり、前連結会計年度に比較して13億1千5百万円増加いたしました。

報告セグメントにおける売上高では、ホームセンター事業は340億2千7百万円（前連結会計年度は、336億8千8百万円）となりました。その主な要因は、春先は前年に比べ平均気温が上昇したことから、灯油・ストーブ等の暖房関連用品の売上高は前年対比で減少しましたが、用土・肥料・花苗・野菜苗といった園芸用品、植物の売れ行きが好調に推移しました。また、オーバーストアと同質化が進む市場環境の中で、主力のホームセンター事業において、ホームセンター「ならでは」の品揃えとサービスの強化を今期の課題として、ワーク衣料、ガーデニング用品の拡充等の品揃えの見直しに取組んでまいりました。また、エクステリアセンターを増設し、併せて住まいと暮らしの「困りごと」に素早い対応、気軽に相談をコンセプトとした「住まいの困りごと相談サービス」を開始し、前年対比で売上高を伸ばさせることができました。一方で前年は、東日本大震災の発生に伴い被災3県(岩手県・宮城県・福島県)において地デジ放送への移行延期の影響で、大きく売上高が伸びていた地デジチューナー・テレビ等の家電用品については特需が一巡し、売上高は前年対比で減少いたしました。夏場は、梅雨明けが例年に比して遅く、低温多雨の天候が続いた影響により、すだれ・よしず・網戸・扇風機等の季節商品についても売上高が前年対比で減少いたしました。他方で、多雨の影響により合羽・長靴・ワイパー関連商品の売上高が堅調に推移しました。秋口からは、日中高温の天候が続き気温低下が例年に比して遅れたことで、防寒用品、暖房関連用品等の売行きが出足鈍く、冬場に入り気温低下が進むものの降雪が少なく、季節商品の売上高は伸び悩みました。しかし、2月の記録的な大雪の特需により除雪関連商品、防寒用品、長靴等の売上高が大きく伸びいたしました。不動産事業は7億7千2百万円（前連結会計年度は、7億8千1百万円）となりました。その主な要因は、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」（当連結会計年度末において計5箇所）等の運営によるものであります。また、「その他」における売上高は78億2千8百万円（前連結会計年度は、69億3千6百万円）となりました。その主な要因は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業の新規出店等によるものであります。

<後略>

(訂正後)

(売上高)

当連結会計年度における売上高は、412億5千万円（前連結会計年度は、399億3千5百万円）となり、前連結会計年度に比較して13億1千5百万円増加いたしました。

報告セグメントにおける売上高では、ホームセンター事業は340億2千7百万円（前連結会計年度は、336億8千8百万円）となりました。その主な要因は、春先は前年に比べ平均気温が上昇したことから、灯油・ストーブ等の暖房関連用品の売上高は前年対比で減少しましたが、用土・肥料・花苗・野菜苗といった園芸用品、植物の売れ行きが好調に推移しました。また、オーバーストアと同質化が進む市場環境の中で、主力のホームセンター事業において、ホームセンター「ならでは」の品揃えとサービスの強化を今期の課題として、ワーク衣料、ガーデニング用品の拡充等の品揃えの見直しに取り組んでまいりました。また、エクステリアセンターを増設し、併せて住まいと暮らしの「困りごと」に素早い対応、気軽に相談をコンセプトとした「住まいの困りごと相談サービス」を開始し、前年対比で売上高を伸長させることができました。一方で前年は、東日本大震災の発生に伴い被災3県(岩手県・宮城県・福島県)において地デジ放送への移行延期の影響で、大きく売上高が伸長していた地デジチューナー・テレビ等の家電用品については特需が一巡し、売上高は前年対比で減少いたしました。夏場は、梅雨明けが例年に比して遅く、低温多雨の天候が続いた影響により、すだれ・よしず・網戸・扇風機等の季節商品についても売上高が前年対比で減少いたしました。他方で、多雨の影響により合羽・長靴・ワイパー関連商品の売上高が堅調に推移しました。秋口からは、日中高温の天候が続き気温低下が例年に比して遅れたことで、防寒用品、暖房関連用品等の売行きが出足鈍く、冬場に入り気温低下が進むものの降雪が少なく、季節商品の売上高は伸び悩みました。しかし、2月の記録的な大雪の特需により除雪関連商品、防寒用品、長靴等の売上高が大きく伸長いたしました。不動産事業は7億7千2百万円（前連結会計年度は、7億8千9百万円）となりました。その主な要因は、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」（当連結会計年度末において計5箇所）等の運営によるものであります。また、「その他」における売上高は78億2千8百万円（前連結会計年度は、66億8千8百万円）となりました。その主な要因は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業の新規出店等によるものであります。

< 後略 >